

対象	小学校高学年以上
教科	社会科
該当 単元	小学6年 「世界の未来と日本の役割」 ・世界の平和と安全を守る国際連合 中学3年 「国際社会の仕組み」 ・国際連合の仕組みと役割
教科書	東京書籍等
掲載日	2019.5.9. 朝刊 岐阜県版

不安な政情 子ども支援を

ユニセフ県協会事務局長・村山さん

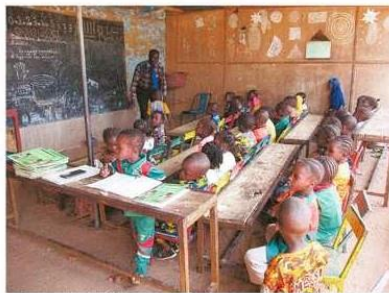


ブルキナファソを視察した様子を写真を交えて話す村山さん。各務原市内で

国連児童基金（ユニセフ）が「スクール・フオー・アフリカ」というプログラムで重点支援する、西アフリカの内陸国ブルキナファソを県協会事務局長の村山克美さん（仮）が視察した。不安定な政情の下、子どもたちは深刻な窮状に置かれていたという。

（秋田佐和子）

西アフリカ ブルキナファソ視察



児童労働撲滅の一環として、採石場近くにユニセフの支援で建てられた保育施設＝ブルキナファソで（村山さん提供）



村山さんは、二月二十四～三月二日の日程でブルキナファソを訪問。ユニセフの支援で教育や衛生環境の向上に努める学校や病院を視察した。

ブルキナファソは一九六〇年、フランスから独立。二〇一四年十月、二十七年間続いたコンパオレ前大統領

の政権が崩壊した後、軍事クーデターが相次ぐ。マリとの国境沿いのサヘル地帯では、イスラム過激派による自治体事務所や学校の襲撃が後を絶たない。村山さんは最初に、現地の非政府組織（NGO）が児童労働の撲滅活動に取り組み、ユニセフの支援で完成した保育施設が近くにある。首都ワガドゥグから約二百キロ北のヤルコ小学校では武装グループからの襲撃に備えた避難訓練の様子を見学した。屋外の子どもたちが一斉に足早に逃げ、屋内の子どもたちが床に突っ伏す。「子どもたちの目つきが危機感に満ちていた」

命の危険にさらされながら勉強している姿に、衝撃を受けた。道中、物売りをしている子どもたちにも出会った。「学校に行けない子はお金で買われて少年兵になる」とも聞いた。教育の大切さを実感した。寄付などの問い合わせは県ユニセフ協会＝電058（379）1781＝へ。

問1：ブルキナファソの首都はどこですか。（ ）

問2：ヤルコ小学校で行われる避難訓練は、何のためにやっているのですか。

（ ）に備えるため

問3：ブルキナファソの子どもたちの深刻な窮状の一つをまとめましょう。

イスラム過激派による（ ）や（ ）の襲撃が後を絶たず、子どもたちは（ ）にさらされながら勉強している。

発展：国際連合が行う活動について調べてみましょう。

【活用にあたって】

日本では、地震・火事・不審者の侵入などを想定して避難訓練が行われています。アフリカのブルキナファソでは、武装グループからの襲撃に備えての避難訓練です。この記事を読むと、日本もブルキナファソも命を守るための訓練とは言え、「衝撃」を受けずにはられません。

小学6年では、「国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現すること」を学習します。国際協力に関わる日本人の活動に関心を持つところから学習を始めることができると思います。

解答例

問1：ワガドゥグ

問2：武装グループからの襲撃

問3：自治体事務所・学校・命の危険

発展：①世界の平和と安全を維持する

②経済・社会・文化・環境・人権などの分野での国際協力を推進する

①②について、具体的な活動を新聞記事やインターネットのホームページなどの資料で調べることができると思います。